

小学1年 国語科

ずうっと，ずっと，大すきだよ ～本を えらんで よもう～

学校教育目標

ふるさとを愛し，21世紀を
たくましく生き抜く子供の育成
～自立・協働・創造～

授業の流れ

授業のポイント

「ずうっと，ずっと，大すきだよ」の学習を生かして，自分の「すきなところ」について伝え合う。教師が，選んだ理由を引き出したり，同じ意見をつなげたりすることで，児童が自分の考えを広げたり，深めたりすることができるようにする。



導入

「ずうっと，ずっと，大すきだよ」の学習を振り返り，「『おはなしハウス』をつくる」という単元のゴールを確認する。



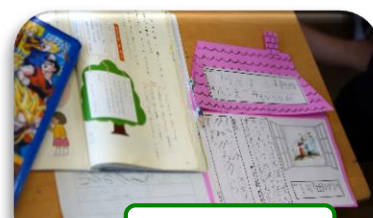
展開

- ① 「ずうっと，ずっと，大すきだよ」の『おはなしハウス』を書く。
- ② 自分が書いた『おはなしハウス』について，グループで紹介し合う。
- ③ 全体で発表し，考えを交流する。



終末

『おはなしハウス』の書き方について振り返り，次時からの，自分が選んだ本の『おはなしハウス』を書く活動につなげる。



指導項目

- C 読むこと
ウ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて，自分の思いや考えをまとめ，発表し合う。

評価について

文章の内容と自分の経験を結び付けながら，自分の「すきなところ」について考えをまとめたり，考えを交流したりすることができるか，記述や観察を通して評価する。

目指す児童の姿

- 自分が考えたことを伝えたり，友達が考えたことを聞いたりして，考えを広げている。

この授業は，学校教育目標にある「協働」の力を高めることにつながる授業である。児童は，これまでの学習で「ずうっと，ずっと，大すきだよ」の「すきなところ」について，自分なりの考えを持っている。お互いの「すきなところ」について考えを交流する活動を通して，考えを広げたり深めたりすることができる。「交流」という活動の良さに気付かせることで，「協働」の価値を感じさせる。